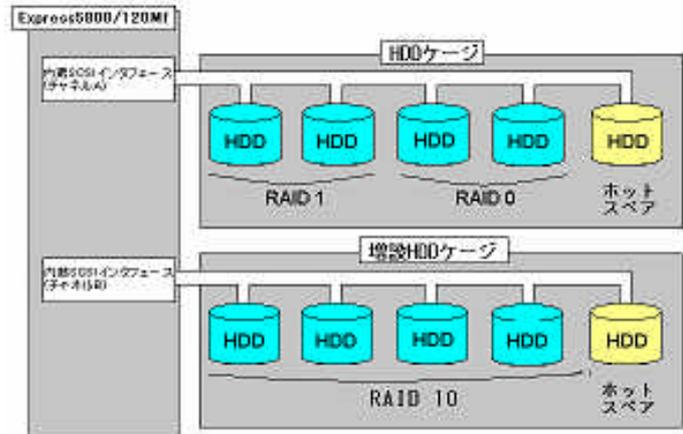


HostRAID™システムサポートソフトウェアをインストールすることにより、Expressサーバ標準内蔵SCSIインターフェースに接続されたHDDをミラーリング(RAID 1)、ストライピング(RAID 0)、およびストライピングミラー(RAID 0+1)に設定することが出来、大切なデータを不慮のHDD故障から守ることが可能となります。



特徴

- ハードウェア、ソフトウェアのコストアップがゼロ
- 最新規格 Ultra320 SCSI をサポート
- PCIスロットを占有しません
- OS起動前(ブート時)からHDDの冗長化が可能です(RAID 0は除く)
- 保守用パーティションも含め、HDD内の各パーティションを冗長化可能です(RAID 0は除く)

機能仕様

サポートHDD数	1チャンネルあたり4ドライブ + 1スペアドライブ (120Mfでは増設HDDケージ使用時、最大10台のHDDを利用可能)
サポートRAID	RAID 0, 1, 0+1 (RAID 0は冗長性なし)
サポートOS	Windows® 2000 Server Windows® 2000 Advanced Server (Linuxについては別途)
構成単位	SCSIチャンネル単位 (チャンネルAをRAID設定し、チャンネルBには単体HDDやTapeを接続する設定が可能)
ESMPRO連携	イベントログに出力されるHDD縮退等の情報をESMPRO通報サービスにより通報可能
主なRAID機能	ホットスペア(スペアドライブを設定し、HDD故障時自動リビルドする機能)、ホットスワップ(OS稼動中のHDD交換による自動リビルド機能)、マイグレーション(単体HDDをRAID 1構成にアップグレードする機能)

- HostRAIDはAdaptec, Inc.の登録商標です。
- Windowsは米国マイクロソフト社の商標です。